

藍住町 議会だより

第64号

平成23年 2月25日

発行 藍住町議会
編集 議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



板野東部消防組合消防出初式



目次

- 12月定例会・・・・・・・・・・ P.2
- 一般質問・・・・・・・・・・ P.4～7
- 特別委員会報告・・・・・・・・ P.9
- 議会のうごき・・・・・・・・ P.10

12月定例会

12月定例議会が12月9日から21日までの13日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

町長提案

- 平成22年度藍住町一般会計補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算について……………原案可決
- 藍住町税条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町河川敷運動公園パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部改正について……………原案可決
- 定住自立圏形成協定に関する議会の議決すべき事件を定める条例の制定について……………原案可決
- 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称変更に伴う徳島県市町村総合事務組合理約の変更について……………原案可決

議員提案

- 処分取消等請求事件にかかる応訴について……………原案可決
 (地方自治法第127条第1項による資格決定により失職した西岡恵子氏からの審査申立てに対し、10月25日付で出された徳島県知事の「本件審査申立てを棄却する」との裁決について、藍住町(代表者・藍住町議会議長)を被告として処分の取消しの訴えを提起されたことに対するもの)
- 尖閣諸島をはじめ我が国の領土領海を守るための意見書について……………原案可決

町からの主な報告

子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業

子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業は、平成22年10月1日から中学3年生の女子を対象に実施しているが、このたび、新たに中学1・2年生及び高校1年生に相当する年齢の女子を助成対象者に加えることとした。

また、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種助成事業についても、新たに生後2か月から5歳未満の乳幼児を対象として、ワクチン接種を無料で受けられるよう助成事業を実施する。両事業とも、事業開始は平成23年1月を予定。

緊急発報装置付き防犯カメラの設置

国の子ども見守り創生事業として、本年度に徳島県警が通学路や公園、不審者情報多発地域等に

緊急発報装置付き防犯カメラを設置するものである。

県内では徳島市と藍住町に設置されることとなり、本町には10箇所の予定。

藍住中学校北校舎の改築

北校舎については、老朽化が著しく、耐震基準にも達していないため、現在、改築に向け実施設計を進めている。建設場所は、南校舎と町民体育館の間、中学校グラウンド北側部分に計画している。

新校舎は、音楽教室・技術家庭科教室・美術教室等の特別教室、校長室・職員室・会議室等とプールであり、現在の北校舎を使用しながらの改築工事となる。

なお、藍中体育館も老朽化が著しいため、新校舎の完成後に北校舎と併せて解体する。そのため、

現在の町民体育館を藍中体育館として授業に使用したいと考えている。

また、解体撤去される藍中北校舎及び体育館の跡地に、新町民体育館を建設したいと考えている。できれば、バレーボールやバスケットボールの全国規模の大会が開催可能な広さと固定式観客席を有する規模のものを考えてみたい。

パークゴルフ場

今後、より多くの方に利用いただけるよう、また、利用者からも利用しやすい料金設定の要望があるため、平成23年1月から使用料金を減額したい。

指定ごみ袋の見直し

指定ごみ袋の価格を引下げ、また、形状を縛りやすい形に変更し、4月1日から実施したい。

平成22年度12月一般会計補正予算

歳入・歳出とも8,500万円増額
予算総額 86億9,800万円

主な補正の内容(1万円未満切り捨て)

総務費

- ◆ 電子計算機管理費……………352万円
(住民税税制改正対応、給食授業料・
口座振替方法変更対応委託料)
- ◆ 戸籍住民基本台帳費……………200万円
(自動交付機設置場所の改良工事)

土木費

- ◆ 町営安任団地(うち1棟6戸)解体工事
……………350万円

消防費

- ◆ 災害対策費(防災無線同報子局移設工事)
……………400万円

民生費

- ◆ グループホームへのスプリンクラー設置補助
……………1,031万円

衛生費

- ◆ 日本脳炎・ヒブワクチン・小児肺炎球菌・子
宮頸がんワクチン予防接種委託料
……………4,177万円
- ◆ 西クリーンステーション管理費
(灰だしコンベア交換工事)
……………520万円

教育費

- ◆ 東小学校体育館床等改修設計
……………147万円
- ◆ 小・中学校テレビ配線工事
……………517万円

平成22年度12月特別会計補正予算の状況

(単位：万円)

特別会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
介護保険事業	18億1,540	1億1,150	19億2,690

総体質問

問 老人福祉費のスプリンクラー設置整備補助交付金について、その施設先は。

答 グループホームが対象である。町内8箇所のうち6箇所まで設置済みで、今回、残り2箇所から申請がきている。全額、国庫補助が町の方に来て、その額をそのままグループホームに交付し、スプリンクラーを設置するという事業である。

平成22年 第5回臨時議会

11月26日開催の臨時会において次の3議案が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

- 藍住町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
- 常勤特別職の給与に関する条例の一部改正について
- 職員の給与に関する条例等の一部改正について
(人事院勧告に準じ、議員・常勤特別職の
期末手当及び職員の給与、期末勤勉手当等
を引き下げる改正)

請

● 尖閣諸島をはじめ我が国の領土領海を守るための請願書……………採択

願

1件の請願があり、全会一致により採択されました。



町道神蔵新居須線拡幅工事

ゆめタウン周辺道路対策について

周辺道路拡張についての指導・協力は行う

問 ファミリー兩國西側道路については、今、拡張工事真っ最中だが、いつ完成するのか。また、県道徳島環状線トヨタカローラから旧県道に抜ける拡張工事について、片側2・75mの2車線の車道と西側に1m程度の植樹帯を含む3mの歩道を設置する予定との事だが、まだ地権者との話も進んでいないと聞いたがどうなっているか。ゆめタウン北側に抜ける道については、ゆめタウンが土地を購入し町に寄付して町道が広がられると聞くが、

どうなっているか。

①ゆめタウンのオープンとともに町外からの車が増えると思われるが、龍池猪熊線南幼稚園前から東へ抜ける道路の拡張はどうなったのか。

②奥野ニュータウンから西向き道路で1カ所歩道が切れている所はどうなったのか。

答 付近の道路拡張工事は、一層努力して理解が得られるようにし、ゆめタウン開店までに完成できるようにしたい。

①何度も足を運び、協力をお願いしている。

②地元の協力を得ることができ、1月から県が工事にかけ、歩道が完成する予定。



小川 幸英 議員

いじめ対策について

学校と連絡・連携を密にしながら今後も努力する覚悟である

問 札幌市立伏見中学校において、2年の女子生徒が自殺した。自宅マンションの6階ベランダから飛び降りたと見られる。自宅居間で見つかった遺書にいじめをほめかす内容が書かれてあったという。

本町において、小中学校で今年報告されているいじめ被害は何件あるか。どのような状況であったか。教育委員会として、どのように取り組んでいるか。

答 平成22年4月以降、現時点までで小学校4件、中学校32件の計36件で、内訳は冷やかしかやらかい21件、暴力をふるう6件、仲間はずれや集団による無視4件、持ち物を隠す2件、インター

ネット掲示板での誹謗中傷2件、言葉での脅し1件。既に34件は解決しており、現在指導中のものが2件ある。

信頼される学校とは、いじめを絶対に許さない、いじめの事実を隠さない、いじめられた子やいじめを見かけた子が安心して教師に相談できる、いじめが発生したら全力で解決に向けて行動する、学校単独で万一解決できない場合は関係諸機関等の人材を積極的に活用し、連携して解決を図るという5条件を備えた学校であると思う。これについて引き続き徹底したい。保護者との連携、家庭との協力についても引き続き強化していきたい。

その他の質問

- ◆ 土砂置き場仮捨て場について
- ◆ 学校給食について
- ◆ 予防接種について

国の進める幼保一元化に逆行している

保護者のニーズに対応するため、柔軟性があり、かつ効率的な保育所運営が必要と考える

問 国は幼稚園は文科省、保育所は厚労省の縦割り行政の弊害をなくし「こども園」として就学前の子供たちの保育を一貫して行政が担うこととした。本町は40年も前から「幼保一元化」に取り組み、0歳児から小学校低学年の学童保育まで行政が責任を持って預かるシステムが確立し、人口増の大きな要因となっている。他の自治体に誇れる事業を民間委託してはならない。

答 本町の幼保一元化の理念を継続しつつ民間活力の導入を図るため、保育所再編検討委員会を設置。保護者には保育所再編のお知らせを配布。アンケート調査を実施し、その結果をリーフレットで配布、保護者説明会も開催した。たとえ民営化したとしても、幼保一元化の理念は継続していけるよう取り組んでいきたいと考えている。



保育所再編検討委員会の様子



問 保育所の給食業務も民間委託する計画であるが、先に民間委託した中学校の給食が「まずくて食えない」との苦情が絶えない。この問題を解決しないうちに民間委託してはならない。カロリーよりも子供たちがおいしく食べられることが先決ではないか。

答 中学校では調理・洗浄部門のみを委託。献立作成や食材購入は、従来どおり学校栄養士と町教育委員会で行っている。本年度の給食アンケートの結果、給食業務委託に関する意見はほとんど無く、献立に関するものが多く見受けられた。学校栄養士と教育委員会で早急に協議し、工夫・改善をしたい。

住民へのサービス低下は許されない

住民サービスの低下を防ぎ、より効率的な行財政運営を目指して施設の移管等を進めている

問 平成17年度から集中改革プランと称して民間委託を進めている。新たに本年度から「行財政基本計画」を策定し、事業の外部委託を進めようとしているが、住民へのサービスの低下はするべきではない。計画の中で「職員の削減」があるが自然減を待つだけで「見直し」にはなっていない。職員が減った分、残業が増え

答 時間外勤務数の増減は、職員数の減少以外にもその年度の特異な事情

れば改革にならない。

が影響する他、業務の多様化・高度化が原因であると思う。改めて効率的な取組みを検討しなければならぬと考えている。



喜田 敏夫 議員

まずくて食えない学校給食

学校給食摂取基準に沿って児童生徒が苦手な食材や献立も実施しているが、かなり不評となることもある

問 保育所の給食業務も民間委託する計画であるが、先に民間委託した中学校の給食が「まずくて食えない」との苦情が絶えない。この問題を解決しないうちに民間委託してはならない。カロリーよりも子供たちがおいしく食べられることが先決ではないか。

答 中学校では調理・洗浄部門のみを委託。献立作成や食材購入は、従来どおり学校栄養士と町教育委員会で行っている。本年度の給食アンケートの結果、給食業務委託に関する意見はほとんど無く、献立に関するものが多く見受けられた。学校栄養士と教育委員会で早急に協議し、工夫・改善をしたい。

住宅リフォーム助成制度は 経済波及効果は10倍

個人資産形成につながる性格を併せ持つため、制度導入を見送っている

問 「いま仕事がない」、
「先行き真つ暗」の声が広がっている。住民の声に
応えて、仕事を増やし地
域経済を立て直す手立
が必要である。

石井町で実施され住民
も業者も喜んでおり、経
済波及効果は10倍以上で
ある。

①地元組合からも申し入
れがあった住宅リフォー
ム助成制度の実施を。

②町として、地域活性化
対策・経済対策は。

答 ①町単独での実施は
考えていない。
②国の経済対策に伴い、
本年度、地域活性化対策
として交付金が交付され
る予定。東小体育館床等
の改修、不登校対策のた
めの指導員配置、図書館
の充実等を行いたい。

商工業活性化策として

は、商工会が発行したプ
レミアム付商品券への助
成を行った。

住宅新築資金等貸付事業の 決算間違いと滞納処理は

平成19・20年度の滞納分調定額に記載もれ
があり、正しい金額を監査委員に報告した

問 9月議会で質問をし
たが、次の点について伺
いたい。
①住宅新築資金等貸付事
業の決算と監査結果は。
②この制度をつくった主
旨と、貸付事業を中止し
た理由は。
③貸付件数とその総額、
返済期間が過ぎてている件
数と滞納額は。
④滞納について、町の対
応は。

答 ②旧同和对策事業特
別措置法の精神を受け、
昭和55年に条例を制定。
平成8年度に国の特別措
置が廃止され、現在は行
っていない。

③66件で総額2億8,4
90万円。滞納(平成21
年度末)は20件4,01
0万2,207円。
④文書による納付催告や
臨戸訪問を実施。



林 茂 議員

その他の質問

- ◆ 要介護認定と障害者控除について
- ◆ 環太平洋連携協定(TPP)について

ごみ袋は 大幅に引き下げるべき

家庭用は1枚あたり大35円を25円、
中25円を15円、小15円を10円にする

問 ごみ袋の値段は、仕
入れの5倍で販売してお
り、町民からも高いと批
判がある。大幅引き下げ
を行うべきである。

①ごみ袋の引き下げと粗
大ごみの手数料引き下げ
は、いくらになるのか。
②ごみの減量による、焼
却費の節減効果額は。

③古い衣類など回収を行
うシステムづくりと構想
は。

④ペットボトルのキャッ
プを集めて、世界の子ども

答 ①粗大ごみ手数料は、
他市町村の状況を踏まえ
て協議し、検討したい。
②燃焼設備改修工事によ
る効率上昇もあり、焼却
関係に限ると約2,60
0万円の削減。
③平成23年4月から衣類
のみを持ち込んでいただ
き、業者に有価で引き取
ってもらうようにしたい。
④平成23年4月から別に
回収したい。

たちにワクチンを送ろう。

指定ごみ袋販売価格

(平成23年4月1日より変更)

【家庭用】(1セット10枚入)

大きさ(容量)	新価格	旧価格
大(45ℓ)	250円	350円
中(30ℓ)	150円	250円
小(20ℓ)	100円	150円

※小は15ℓから20ℓに変更されます。

自治体クラウドの推進

平成 23 年から板野郡地方行政研究会でシステムの共同利用が可能かどうか勉強会を開いて検討したい

問 国が目指している新しい電子行政は「自治体クラウド」の推進という形で全国展開を開始。すでに、地域によっては積極的に自治体間の共同や IT 業者の協力を得て独自のクラウド化を実現し、歳出半減の成果を出した。情報通信技術の進化は、業務の効率化、コスト削減、住民サービスの充実に一層寄与するものと確信する。国の方針でもある自治体クラウド、本町での取組みについて伺いたい。

答 電算機の共同利用は、同一のプログラムを使用するため、様式など統一の必要があり、自治体で合意しなければならぬ問題も多くあるので、現時点では難しいと思う。町民の方の利便性の向上については、以前より住民票・印鑑証明の自動交付機の設置等をしており、今後は各種申請の電子化も視野に入れ、電算システムの計画を立てていきたい。

eLTAAX(エルタックス)の早期稼働

本町電算システムの更新予定を
確認しながら開始時期を判断したい



西川 良夫 議員

問 企業の地方税申告にはインターネットで行える eLTAAX のシステムが各市町村と接続されているが、本町では現在利用不可能である。オンライン化により企業や行政の作業の効率化や財政等の軽減、紙媒体の減少で環境施策にも貢献できることから早期のシステム稼働が望まれる。

答 本町のホストコンピュータのリース期間が満了する時点(平成 26 年度)で商品化されたソフトウ

エアへの入替えが検討される可能性が高いと考えられる。ソフトウエアの一括入替えが行われた場合、エルタックスデータを取り込むためにシステムを付け加えていたら、相当な費用が無駄になってしまう。

エルタックスの早期利用に努めたいと考えているが、本町電算システムの更新予定を確認しながら開始時期を判断したいと考えており、御理解いただきたい。

児童館等、施設利用料金の納付方法の改善

新年度から口座振替を導入したい

問 現在、施設利用の料金納付は指定の銀行でしかできない。お勤めの方の中には、時間が無く銀行も無いため、大変不便な思いをしている方がたくさんおられる。一般ではコンビニや ATM、電子決済は普通であり、住民サービスも時代の変化

に柔軟に対応することが求められる。納付書を廃止して口座振替に変更してはどうか。

答 関係機関と協議を進め、新年度から口座振替を導入できるよう取り組みたいと考えている。



電算室

市町村議会議員セミナー （全国市町村国際文化研修所に参加して）

1月11～12日に市町村議会議員セミナーが開催され、本町議会からは2名が参加した。

議会議員 小堀 克夫

西川 良夫

1日目、「地域主権改革の動向と自治体議会・議員の役割」のテーマで、大森彌氏（東大名誉教授）より講義を受けた。

2010年6月22日に閣議決定された地域主権戦略大綱では「地域改革は、まず住民に身近な行政は地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにする」として「地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組み事が出来るようにする為の改革を言う」この二つの側面を持つ改革が進むと、世界でも珍しい分権国家が期待できる。

次に、阿久根市の例は

市長の専決処分が問題となったが、議会招集は有効な議会活動の絶対要件である。市長の暴走を止められなかった議会の責任もある、地方自治法の根幹を揺るがす重大問題だ。

また、大阪、名古屋の例を見れば、首長が自前の政党を作り支配しようとしている、困った事にマスコミ受けされ多数化の現象は、多くの住民の意思が排除されデモクラシーの危機を感じる。

議会こそ住民の代表であり、首長の独走を拒みチェックする責任がある。議員同士の議論、議会報告などで住民との信

頼関係を築く事。以上、地方議員の活躍に期待するとのことであった。

現在、本町の議会においては、積極的に自浄能力を発揮し住民の負託に応えられるよう日々奮闘している。今後さらに町政発展の為、誠心誠意で取り組む決意である。

（西川良夫）



2日目、地域づくり、生き生きまちづくりと題して、青森県大鰐町（人口7千人）と熊本県人吉市（人口4万人弱）のこれま

での取組みについて、パネルディスカッションを含め、交換会に参加した。いずれの町も、人口減少による過疎化で老年人口が増加し、活力が失われつつある。

そこで、人吉市では行政等に頼らず出資を募り、農山村の自然文化、人々の交流を互いに楽しむ滞在型で農家民泊やレストラン（ひまわり亭）運営を行っている。地域住民には感動、喜び、生きがい、副収入、地産の活用を行い、観光で訪れる都市住民には心身の癒しと健康回復、体験学習を通じて第二のふるさととしてもらうべく活動している。特に60歳以上の女性を中心となり、おばあちゃんの知恵、経験、技がもったいない、古い民家、家に眠る食器、鍋がもったいない、地域の食材がもったいないというキーワードである。

一方、大鰐町は町民対象のワークショップの運営により、0日鰐元気隊が活動している。経済的

な支援を受けるといえる。幸い、藍住町は人口も微増しており、急激な過疎化は少し先かもしれないが、地域住民間の交流が町内会を通じて活発になる方向性を行政と議会が、また職員が今から進めるべきとの感想を持った。

（小堀克夫）



防災対策特別委員会報告

11月4日に開催され、南海・東南海地震対策について、徳島県危機管理部長より説明を受け、質疑を行った。

東海・東南海・南海の3つの地震が同時に起こった場合、藍住町では震度6弱、また、町内ほぼ全域で液状化の可能性が極めて高いと想定される。徳島県では、地域防災力の強化、地震・津波災害に強い街づくりとして、防災拠点となる県有施設の耐震化、公立小中学校の耐震化、木造住宅の耐震診断及び耐震化、自主防災組織率100%を目指して取り組んでいる、との説明であった。

かるといふ大きな課題が残っているとのことであった。

液状化現象が起こると地盤沈下が起こるのではないかと、液状化現象は地盤沈下というのではないが、上に重い物が乗っている所は、水が出ることによってその分だけ沈んでしまう。大きな建物については大きな地下杭を打つが、民間でする対策は、なかなか無いとのことであった。

また、その後、正法寺川及びジェイテクト前の現地視察を行い、質疑を行った。

ジェイテクト前からの排水対策について、橋の辺りで前川に流し込むのかとの質問に、現在、ジェイテクトの前から鍵のような形になって排水に流れ込んでいる部分をそのまま県道に沿って東の方へ行き、前川の方に流し込むような形に改良す

る。県では、来年予算付けがされると思うとの説明であった。

また、正法寺川のはき出しの所について、ポンプ能力が足りないと言っているが、めどは立たないのかとの質問に、国交省には町長から再々言っているが、他に急を要する所があり、藍住町は大きな水害がこの前の時以外にないので、今のところ考えることができないというような回答があったとのことであった。

正法寺川の樋門についての質問に、当時は塩害があるということと閉めたと聞いた。塩害がないとの判断はまだできていないが、実際、開けておいた方が川はきれいになる。おそらく当時は、みどり橋の下の所に堰がなく、上まで登ってきて、井隈の水が塩を含んだ形になったのではないかと

思う。今は堰をしているので、井隈の水に関しては、塩害という形はたぶん無くなるので、大丈夫ではないかと判断できるとのことであった。

また、正法寺川の管理道路について、県も管理が悪いと思うが、緊急時に使えなくならないようにちゃんと管理しなければいけないとの意見に対し、県の河川管理の方に伝えたいとのことであった。



排水機場の視察

定例会案内

次の定例会は3月です。
次号は5月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関するご意見をお寄せください。

投稿規定



- 1.住所・氏名・電話番号を明記。
- 2.掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- 3.字数は500字以内。
- 4.投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

わたしの一言

徳命 湯村 賀代子さん

まったく呆れてモノが言えません。去年の12月、「藍住町議万引」のニュースが大きく報じられました。当然、この議員は自ら議員辞職をしたのですが、私たち町民の気持ちは収まりません。

なぜなら、私はいつも町外の友人たちに藍住の素晴らしいところを自慢してきたからです。大きな店が次々と建ち、買物に便利だし、病院や銀行もたくさんある。そんな魅力がある町だからこそ人口が増え、活気があるのだと思っています。友人たちも、「ほんまに藍住が羨ましい」と言ってくれていました。

それなのに、この議員は、町民の期待を裏切り、藍住町の名を汚してしまったのです。しかも、この議員は日本共産党から出馬していました。共産党といえば、自分たちこそが唯一、庶民のくらしを守る政党だと吹聴しているではありませんか。

また、藍住町議会では、この事件の半年ほど前にも女性議員が「町内に住んでいないので議員資格がない」として、失職しています。

町民の負託を受けた議員には、批判や疑惑を持たれるような行為があってはなりません。町議会は深く反省し、町外だけでなく子や孫たちからも笑われない町にしてもらいたい。そんな一心で投稿しました。



藍住町議会議場

議会のうごき

11月

- 2日 議会だより編集委員会
- 3日 各種功労者表彰式
- 11日 戦没者追悼式

徳島県町村議会議長会事務局長会 (徳島市)

17日～19日

- 22日 町村議会議長会全国大会・役員研修(東京都ほか)
- 26日 板野郡町議会議長会定例会 (松茂町)
- 29日 第5回臨時議会

- 22日 議会全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 29日 第32回藍翠苑祭

12月

- 3日 徳島県町村議会議長会理事會・事務局長会合同会議 (徳島市)
- 9日 議会運営委員会

- 16日 12月定例議会一般質問
- 21日 12月定例議会閉会

- 16日 12月定例議会一般質問
- 21日 12月定例議会閉会
- 22日 板野西部青少年補導センター組合議会 (板野町)

24日 板野東部消防組合議会 (北島町)

1月

- 9日 藍住町成人式
- 10日 板野東部消防組合消防出初式
- 11日～12日 市町村議会議員セミナー (滋賀県)

- 19日 商工会新年互礼会
- 28日 議会だより編集委員会
- 29日 板野郡町議会事務局職員研修会



みんなで歩んで！24ぐるっとウォークinとくしま

- 委員長 奥村晴明
- 委員 矢部秀行
- 委員 佐野慶一

議会だより編集委員会

編集後記

新年を迎え、早2か月が過ぎようとしています。町議会においては、昨年4月に議員資格決定の議決により1名が失職、12月には不祥事により1名が辞職するなど、皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。さて、町議会議員の任期も残り1年となりました。町議会としては、皆様のご期待に応えられるよう、全力を傾けてまいり、所存であります。どうか町議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小西浩昭議員が辞職しました

12月8日、小西浩昭議員から議員の辞職願が提出され、同日、許可されました。